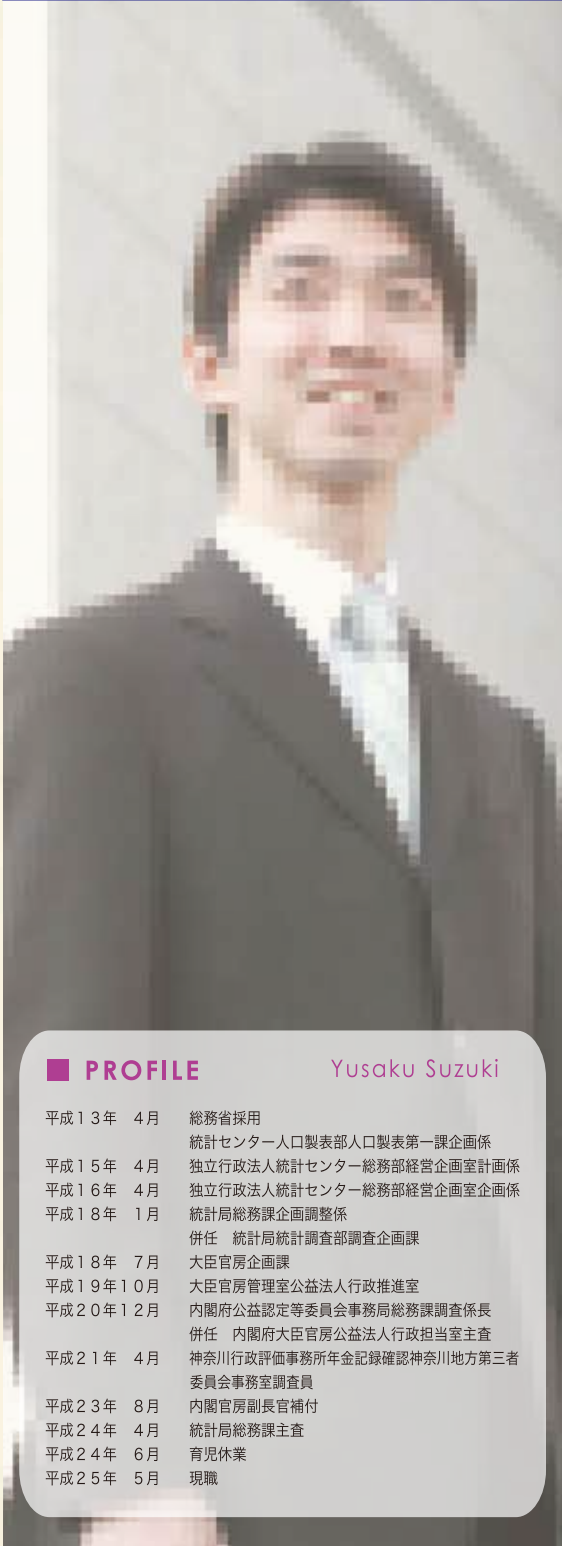


11 人事・恩給局

勤務形態専門職

鈴木 勇作

霞ヶ関からワーク・ライフ・バランスの実現を!



PROFILE

Yusaku Suzuki

- 平成13年 4月 総務省採用
- 統計センター人口製表部人口製表第一課企画係
- 平成15年 4月 独立行政法人統計センター総務部経営企画室計画係
- 平成16年 4月 独立行政法人統計センター総務部経営企画室企画係
- 平成18年 1月 統計局総務課企画調整係
- 併任 統計局統計調査部調査企画課
- 平成18年 7月 大臣官房企画課
- 平成19年10月 大臣官房管理室公益法人行政推進室
- 平成20年12月 内閣府公益認定等委員会事務局総務課調査係長
- 併任 内閣府大臣官房公益法人行政担当室室主査
- 平成21年 4月 神奈川行政評価事務所年金記録確認神奈川地方第三者委員会事務局調査員
- 平成23年 8月 内閣官房副長官補付
- 平成24年 4月 統計局総務課主査
- 平成24年 6月 育児休業
- 平成25年 5月 現職

■ 仕事の内容

男女が共に仕事と子育て等を両立できる社会の実現のために

国家公務員のワーク・ライフ・バランスの推進が私の仕事です。具体的には、超過勤務縮減対策や男性職員への育児休業等の取得促進です。

超勤縮減対策ではシンポジウムも開催していますが、ご参加いただいた有識者から、国と民間企業が関わる場面は多いため、役所の働き方を変えることによる日本社会全体に対するインパクトは大きい、とコメントがありました。また、超勤縮減は女性の活躍推進にも大きく関わるので一層の取組が必要です。

男性職員の育児等取得促進業務では、新規にハンドブックを作成しました。制度解説の他、先輩イクメンインタビューや有識者アドバイス、育児マンガ等も掲載しています。内容の企画から始まり、原稿やデザインの検討、最後はタイトルや表紙の絵の決定まですべてを仕切り、各省から追加発注の要望をいただくほど、評判のいいものが出来上がりました。皆さんも入省したらぜひ『イクメンパスポート』（というタイトルです）を読んでください!

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

育児休業取得の経験を活かして

私は入省以来、霞ヶ関勤務だけではなく地方部局や独立行政法人勤務、内閣官房等への向かも経験しました。様々な業務を担当できるので、毎回新鮮な気持ちで働いています。

また、私は育休を取得しましたが、その直後に男性職員への育休等取得促進を担当する現職に就いたため、経験も活かして働いています。現職では育休等の取得を考える男性職員向けの講演会を全国で開催していますが、出席者からは、取得に当たっての職場での人間関係や上司への話の切り出し方等の相談もあります。男性の育休取得者数は少なく、周りに相談相手がいいため、皆さん苦労しているようです。講演会後も電話やメールで切実な相談が寄せられるのですが、経験者として相手の気持ちをより理解した上での回答やアドバイスを心がけています。

経験を活かし男性職員の積極的な育児参加の促進を行い、また超勤縮減も併せて、ワーク・ライフ・バランスの推進を図りたいと思います。

■ PRIVATE TIME

休日は2人の子どもを連れて近所の砂浜で遊びます。貝殻を持ち帰りベランダに置くので、いつも海の香りがします。また2人が好きな餃子を家で手作りします。小さな姉弟が散らかしながらも不恰好な餃子を作り、それを競うように食べる姿を見るのは幸せです。

この子たちのためにも、ワーク・ライフ・バランスが当たり前の社会を実現させたいと思います。



とある一週間

■ MONDAY

週末の出張に向けて資料等の準備。ランチは業務で知り合った他省のイクメン友達と!

■ TUESDAY

『イクメンパスポート』完成間近。表紙を何色にするかで上司と意見が分かれ、しばし議論。

■ WEDNESDAY

国会対応が入る。上司的確な指示により、スムーズに資料作成が完了しました。

■ THURSDAY

ワーク・ライフ・バランスに関して副大臣と勉強会。熱く語る副大臣の言葉に胸を打たれました。

■ FRIDAY

育児等取得促進講演会(大阪)当日。舞台上で話すのはいつも緊張します。

人事・恩給局

行政管理局

統計局

行政評価局